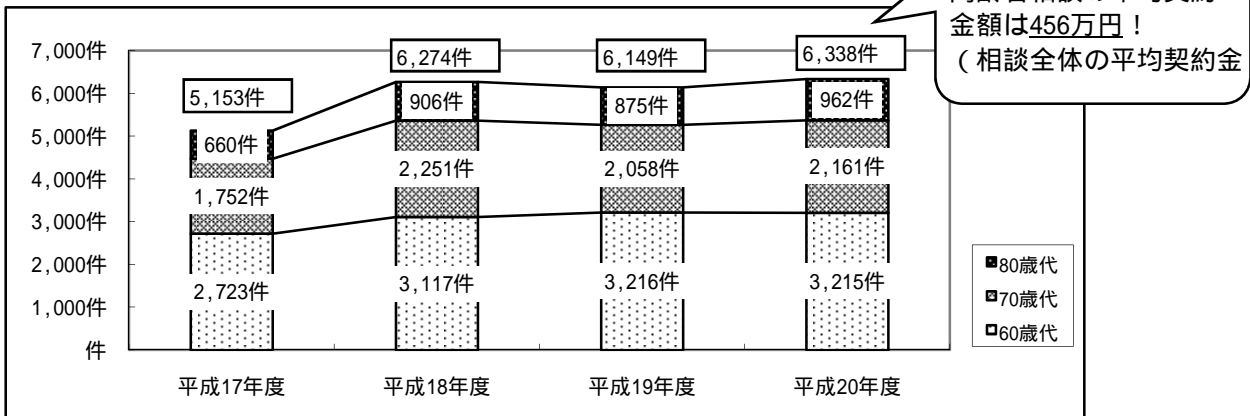


(4) 高齢者の相談

「高齢者相談」の件数は6,338件で過去最高となり、3年連続で6千件を超えた。前年度と比較すると70歳代、80歳代がともに増加している。また平成20年度の平均契約金額は456万円となり、非常に高額となっている。これは、主に多重債務に関する相談が件数・契約金額ともに増加したことや、主に未公開株や先物取引、生命保険などの比較的高額な取引において、契約金額がさらに高額化していることが要因である。(図-12)

\* 高齢者相談：契約当事者が60歳以上である相談

【図-12】高齢者相談の年度別、年代別件数の推移



高齢者の相談を商品別にみると、携帯電話やパソコンを利用した有料サイト料金やサイトの登録料などの架空・不当請求の相談が最も多い。次いでサラ金等からの借金による多重債務など「融資サービス」に分類される相談、未公開株や先物取引など「預貯金・証券等」に分類される相談が多く寄せられた(表-8)。

販売方法・手口別にみると、「利殖商法」に関連した相談は712件寄せられ、前年度と比べると79.3%増となっている。これは、未公開株や金の先物取引等による相談が増加したためである(図-13)。

\* 「利殖商法」：利殖になることを強調して投資や出資を勧誘する商法。  
 「マルチ商法」：商品等の購入契約と販売組織への加入をさせ、その者に新たな会員をリクルートさせることによって利益を得られるという販売方法。  
 「原野商法」：無価値に近い山林原野を、巧みな手口でその数倍から数十倍の高値で売りつける販売方法。また、以前購入した土地を売却するためとして、新たな土地の購入や整地、測量、広告などの契約を結ばせるといった被害もある。

【表-8】高齢者相談に多い商品・サービス上位5位(平成20年度)

商品・サービス名	件数	主な相談内容
1 オンライン等関連サービス	631	有料サイト利用料金等の架空・不当請求等
2 融資サービス	509	サラ金等からの借金による多重債務等
3 預貯金・証券等	479	未公開株、先物取引への出資等
4 レンタル・リース・貸借	250	賃貸アパートの修理代、退去時の保証金返還等
5 工事・建築・加工	247	増改築工事等のリフォーム工事等

【図-13】高齢者相談のうち、利殖商法、原野商法、マルチ商法に関連する相談件数

